

住人十色

仕事に夢中、出会いに感謝

(株)りくう 佐藤友佳理さん(平野)



●原料の楮に水分子・気体分子を吸着する機能を持つ成分ゼオライトを担持させた「呼吸する和紙」を使って、さまざまな製品を開発中

竜宮トンネルを抜けてすぐのところにある小田川に面した風通しのいい工房で、ついたてやモビールなどの和紙のインテリアを制作している佐藤友佳理さん。現在、(株)りくうで、「呼吸する和紙」を使った和紙の新ブランド「Wazumi」の製品開発・制作・販売・広報を手掛けています。

洋服が大好きで、専門学校を卒業してから、イギリス・ロンドンや東京で、約5年間モデルとして活躍していたという佐藤さん。その後デザインを勉強し、数年前から父親が社長を務める同社の事業に関わるようになりました。昨年6月に帰郷してからは、「生活の8割は仕事」というほど夢中の毎日。「工房にこもって作業する時間と、どんだん外に出て人と出会い、たくさん刺激を受ける時間、どちらも楽しい」と、いつも忙しく飛び回っています。

モデル時代も今も、一番に心掛けているのは笑顔と感謝。「仕事もその他の趣味や楽しみも、人との出会いが広がって世界が広がっていく。この町でたくさんつながりをつくっていきたい」と瞳を輝かせていました。

編集幸記

2月3日は節分です。豆まきで悪い鬼を追い払い、幸福をたくさん呼び込みたいです。豆といえば、最近体力が低下ぎみです。ある漫画みたいに一粒食べると体力が一気に回復する豆がほしいです。(光)

最近、町内のパワースポット巡りをしている人と出会いました。知る人ぞ知る場所が結構あるのだとか。「探して出かけよう」という気持ちですが、すでにパワーを引き寄せられている気がします。(み)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

